■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）／インデックス型
信託期間	無期限（設定日：2021年８月３日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 **ゴールド・インデックス・マザーファンド** iShares Gold Trust （ｉシェアーズ ゴールド・トラスト） SPDR Gold MiniShares Trust （ＳＰＤＲ® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト）
当ファンドの運用方法	**日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）** ■金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 **日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）** ■金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	**当ファンド** ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 **ゴールド・インデックス・マザーファンド** ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年１回（原則として毎年７月31日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

日興FWS・ゴールド（為替ヘッジあり）

日興FWS・ゴールド（為替ヘッジなし）

【運用報告書（全体版）】

（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

第 5 期

決算日 2026年７月31日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
https://www.smd-am.co.jp

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター　0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			（ベンチマーク）ＬＢＭＡ金価格		投資信託組入証券比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率	（円ヘッジ換算ベース）	期中騰落率		
（設定日）	円	円	%		%	%	百万円
2021年８月３日	10,000	－	－	100.00	－	－	1
１期（2022年８月１日）	9,260	0	△ 7.4	95.99	△ 4.0	95.4	379
２期（2023年７月31日）	9,620	0	3.9	100.71	4.9	100.1	484
３期（2024年７月31日）	11,060	0	15.0	116.19	15.4	95.0	351
４期（2025年７月31日）	14,063	0	27.2	152.76	31.5	99.2	328
５期（2026年７月31日）	16,964	0	20.6	182.46	19.4	96.4	278

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。
※ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）は、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド（ICE Benchmark Administration Limited）が公表する指数（ＬＢＭＡ金価格）を基に委託会社が換算したものです。
ＬＢＭＡ金価格はICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドが算出し公表している指数であり、同社は、ＬＢＭＡ金価格及びＬＢＭＡ金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（ベンチマーク）ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
（期首）	円	％		％	％
2025年７月31日	14,063	－	152.76	－	99.2
８月末	14,656	4.2	157.00	2.8	98.3
９月末	16,325	16.1	175.96	15.2	100.5
10月末	17,085	21.5	183.36	20.0	100.0
11月末	17,634	25.4	190.31	24.6	99.8
12月末	18,294	30.1	198.06	29.7	99.1
2026年１月末	22,598	60.7	245.25	60.5	96.5
２月末	21,725	54.5	233.72	53.0	100.1
３月末	18,789	33.6	203.51	33.2	99.2
４月末	18,893	34.3	202.67	32.7	98.2
５月末	18,641	32.6	197.63	29.4	97.8
６月末	16,629	18.2	179.16	17.3	98.4
（期末）					
2026年７月31日	16,964	20.6	182.46	19.4	96.4

※騰落率は期首比です。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			（ベンチマーク）		投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率	ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）	期中騰落率		
（設定日）	円	円	%		%	%	百万円
2021年８月３日	10,000	－	－	100.00	－	－	1
１期（2022年８月１日）	11,456	0	14.6	117.67	17.7	98.9	1,659
２期（2023年７月31日）	13,424	0	17.2	139.10	18.2	98.9	4,807
３期（2024年７月31日）	17,682	0	31.7	183.98	32.3	98.3	10,723
４期（2025年７月31日）	23,335	0	32.0	249.25	35.5	98.7	15,588
５期（2026年７月31日）	31,381	0	34.5	333.62	33.9	97.5	18,238

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。
※ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）は、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド（ICE Benchmark Administration Limited）が公表する指数（ＬＢＭＡ金価格）を基に委託会社が換算したものです。
ＬＢＭＡ金価格はICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドが算出し公表している指数であり、同社は、ＬＢＭＡ金価格及びＬＢＭＡ金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（ベンチマーク）ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
（期首）	円	%		%	%
2025年７月31日	23,335	－	249.25	－	98.7
８月末	23,998	2.8	252.80	1.4	98.8
９月末	27,169	16.4	287.68	15.4	98.9
10月末	29,467	26.3	310.79	24.7	98.1
11月末	30,978	32.8	328.53	31.8	98.5
12月末	32,207	38.0	342.85	37.6	98.6
2026年１月末	39,233	68.1	419.36	68.3	99.0
２月末	38,314	64.2	406.53	63.1	98.5
３月末	34,184	46.5	365.63	46.7	98.5
４月末	34,581	48.2	366.23	46.9	97.6
５月末	33,990	45.7	355.68	42.7	97.6
６月末	30,996	32.8	330.15	32.5	97.3
（期末）					
2026年７月31日	31,381	34.5	333.62	33.9	97.5

※騰落率は期首比です。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

基準価額等の推移

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期　首	14,063円
期　末	16,964円 （既払分配金0円（税引前））
騰 落 率	＋20.6% （分配金再投資ベース）

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。（以下、同じ）

※当ファンドのベンチマークは、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）です。
※ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）は、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド（ICE Benchmark Administration Limited）が公表する指数（ＬＢＭＡ金価格）を基に委託会社が換算したものです。
ＬＢＭＡ金価格はICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドが算出し公表している指数であり、同社は、ＬＢＭＡ金価格及びＬＢＭＡ金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。

日興ＦＷＳ・ゴールド(為替ヘッジなし)



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期　首	23,335円
期　末	31,381円 (既払分配金0円(税引前))
騰 落 率	＋34.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、ＬＢＭＡ金価格(円換算ベース)です。
※ＬＢＭＡ金価格(円換算ベース)は、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド(ICE Benchmark Administration Limited)が公表する指数(ＬＢＭＡ金価格)を基に委託会社が換算したものです。
ＬＢＭＡ金価格はICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドが算出し公表している指数であり、同社は、ＬＢＭＡ金価格及びＬＢＭＡ金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。

基準価額の主な変動要因（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

マザーファンドへの投資を通じて、主として、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、ロンドン貴金属市場協会（ＬＢＭＡ）金価格※（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

※ロンドン貴金属市場協会（ＬＢＭＡ）金価格とは、正式名称はLBMA Gold Price PMといい、ＩＣＥベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド（ICE Benchmark Administration Limited）によってロンドン時間の午後に公表される１トロイオンスあたりの金現物価格（米ドル建て）を指します。なお、ＬＢＭＡは、London Bullion Market Associationの略称です。

上昇要因

●中東やベネズエラ等を巡る地政学リスクの高まりから、安全資産需要が高まったこと
●米国の関税政策・政府機関閉鎖懸念から、安全資産需要が高まったこと

下落要因

●米国長期金利（10年国債利回り）が上昇したこと

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

マザーファンドへの投資を通じて、主として、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資することにより、ロンドン貴金属市場協会（ＬＢＭＡ）金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

●中東やベネズエラ等を巡る地政学リスクの高まりから、安全資産需要が高まったこと
●米国の関税政策・政府機関閉鎖懸念から、安全資産需要が高まったこと
●米ドルが円に対して上昇したこと

下落要因

●米国長期金利（10年国債利回り）が上昇したこと

投資環境について（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

金市場は、上昇しました。米ドル・円は、米ドル高・円安となりました。

金市場

期を通じて、金市場は上昇しました。
期初から2026年２月にかけては、中東やベネズエラ等を巡る地政学リスクの高まりや、米国の関税政策・政府機関閉鎖懸念などを背景に安全資産需要が高まり、金価格は上昇しました。
その後、期末にかけては、原油価格の上昇に伴うインフレ圧力や堅調な雇用・物価指標を背景に米長期金利が上昇したことや、ＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待の後退などが重石となり、金価格は下落に転じました。

為替市場

米ドル・円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。日米の金利差は縮小したものの、なお相応の水準にあったことや、米国の金融政策が緩和姿勢から引き締め姿勢に転じるとの観測が強まったことなどから、円安圧力となりました。しかし、期末にかけては、日米通貨当局が円買いの協調介入を実施したことから急速に円高が進む展開となりました。

ポートフォリオについて（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

「ゴールド・インデックス・マザーファンド」の組入比率を高位に保ちました。
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

「ゴールド・インデックス・マザーファンド」の組入比率を高位に保ちました。
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

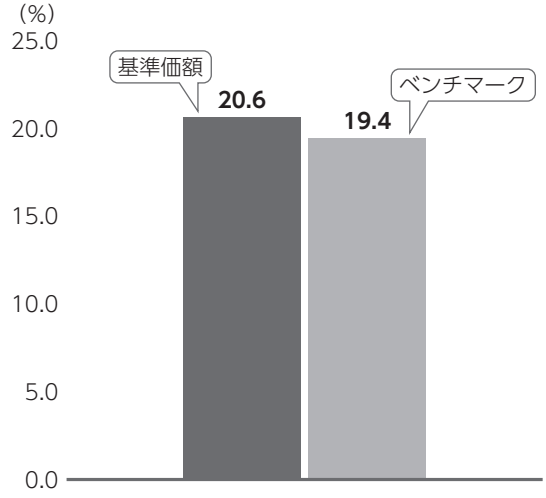
ゴールド・インデックス・マザーファンド

ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指し、iShares Gold TrustやSPDR Gold MiniShares Trustを組み入れて運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）をベンチマークとしています。
記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は＋20.6％（分配金再投資ベース）となり、ベンチマークの騰落率＋19.4％を1.2％上方乖離しました。

上方乖離要因

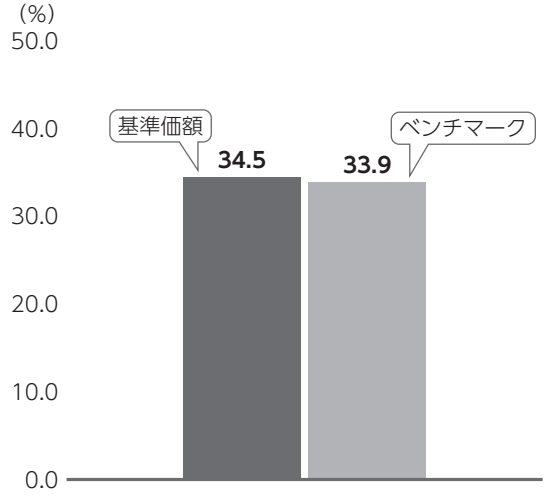
●投資対象ＥＴＦ（上場投資信託）とベンチマークで評価時間に差があること

下方乖離要因

●売買コストが生じたこと
●現地証券保管銀行の証券保管および取引などに関わるコストが生じたこと
●信託報酬が発生したこと

日興ＦＷＳ・ゴールド(為替ヘッジなし)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、ＬＢＭＡ金価格(円換算ベース)をベンチマークとしています。
記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は＋34.5％(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰落率＋33.9％を0.6％上方乖離しました。

上方乖離要因

●投資対象ＥＴＦ(上場投資信託)とベンチマークで評価時間に差があること

下方乖離要因

●売買コストが生じたこと
●現地証券保管銀行の証券保管および取引などに関わるコストが生じたこと
●信託報酬が発生したこと

分配金について（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）
日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

（単位：円、１万口当たり、税引前）

項　目	第５期	
	（為替ヘッジあり）	（為替ヘッジなし）
当期分配金	0	0
（対基準価額比率）	（0.00%）	（0.00%）
当期の収益	－	－
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	6,964	21,380

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、各ファンドとも見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

「ゴールド・インデックス・マザーファンド」の組入比率を高位に保ちます。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

「ゴールド・インデックス・マザーファンド」の組入比率を高位に保ちます。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

引き続き、ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指し、iShares Gold Trust※やSPDR Gold MiniShares Trustを高位に組み入れて運用を行います。

※2026年12月16日付で「iShares Gold Trust」から「iShares Gold Trust Micro」へ入れ替えを行う予定です。

3 お知らせ

約款変更について

日興ＦＷＳ・ゴールド(為替ヘッジあり)
日興ＦＷＳ・ゴールド(為替ヘッジなし)

●「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」へ名称を変更することとなったため、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2026年４月１日）
●信託報酬率および委託会社の配分を引き下げることに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2026年４月28日）

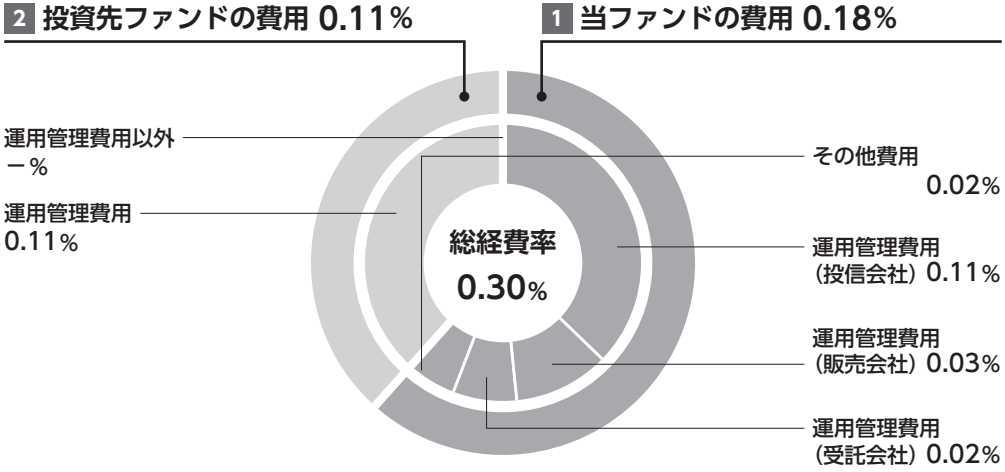
１万口当たりの費用明細（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	30円	0.165%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は18,084円です。
（投　信　会　社）	(20)	(0.110)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販　売　会　社）	(6)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(4)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.022	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　　式）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(4)	(0.022)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　　式）	(－)	(－)	
（公　社　債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(2)	(0.010)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(1)	(0.004)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（そ　の　他）	(0)	(0.003)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合　　計	37	0.204	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。**なお、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用は含みません。**

参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1＋2)		0.30%
1	当ファンドの費用の比率	0.18%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.11%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	－%

※1の各費用は、前掲「１万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第２位未満を四捨五入)です。「１万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
※2の投資先ファンド(マザーファンドが組み入れている投資信託証券)の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。なお、2の投資先ファンドの費用には、当ファンドが組み入れているマザーファンドの費用は含まれていません。
※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

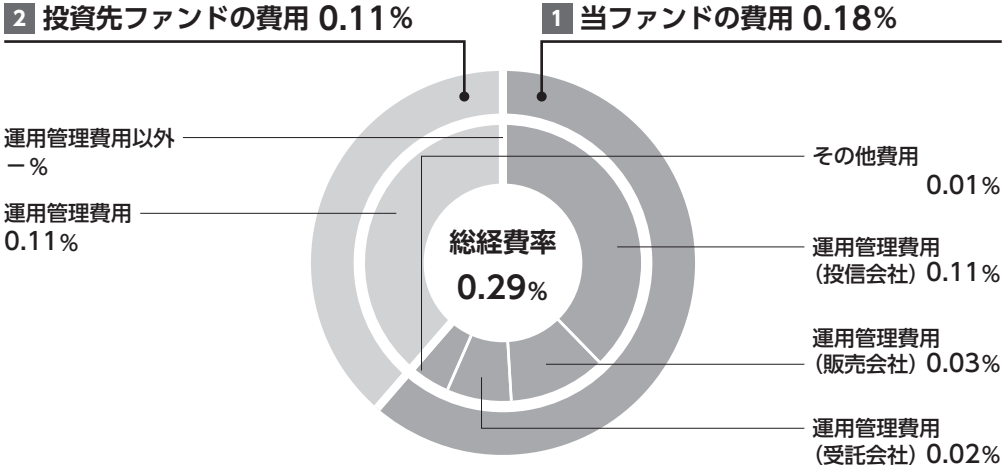
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(１口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.30%です。

日興ＦＷＳ・ゴールド(為替ヘッジなし)

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	**53円**	**0.165%**	**信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)**
(投　信　会　社)	(35)	(0.110)	**期中の平均基準価額は31,934円です。** 投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販　売　会　社)	(11)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受　託　会　社)	(7)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	**7**	**0.022**	**売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数**
(株　　式)	(－)	(－)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(7)	(0.022)	
(c) 有価証券取引税	**0**	**0.000**	**有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数**
(株　　式)	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公　社　債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	**5**	**0.014**	**その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数**
(保　管　費　用)	(3)	(0.010)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監　査　費　用)	(1)	(0.004)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ　の　他)	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合　　計	**64**	**0.201**	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。**なお、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用は含みません。**

参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1＋2)		0.29%
1	当ファンドの費用の比率	0.18%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.11%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	－%

※1の各費用は、前掲「１万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第２位未満を四捨五入)です。「１万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
※2の投資先ファンド(マザーファンドが組み入れている投資信託証券)の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。なお、2の投資先ファンドの費用には、当ファンドが組み入れているマザーファンドの費用は含まれていません。
※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(１口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.29%です。

当期中の売買及び取引の状況（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ゴールド・インデックス・マザーファンド	11,390	37,283	64,794	191,162

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ゴールド・インデックス・マザーファンド	1,205,506	3,794,853	2,078,695	5,955,777

利害関係人との取引状況等（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細（2026年７月31日現在）

親投資信託残高

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

種類	期首(前期末) 口数	期末 口数	期末 評価額
	千口	千口	千円
ゴールド・インデックス・マザーファンド	140,590	87,186	275,901

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

種類	期首(前期末) 口数	期末 口数	期末 評価額
	千口	千口	千円
ゴールド・インデックス・マザーファンド	6,636,581	5,763,392	18,238,254

※ゴールド・インデックス・マザーファンドの期末の受益権総口数は7,284,373,424口です。

投資信託財産の構成

（2026年７月31日現在）

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

項目	期末 評価額	期末 比率
	千円	%
ゴールド・インデックス・マザーファンド	275,901	98.7
コール・ローン等、その他	3,620	1.3
投資信託財産総額	279,521	100.0

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

項目	期末 評価額	期末 比率
	千円	%
ゴールド・インデックス・マザーファンド	18,238,254	99.9
コール・ローン等、その他	20,564	0.1
投資信託財産総額	18,258,819	100.0

※ゴールド・インデックス・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（22,770,950千円）の投資信託財産総額（23,098,974千円）に対する比率は98.6%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝160.72円です。

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年７月31日現在）

項目	期末
(A) 資産	591,140,844円
コール・ローン等	288,319
ゴールド・インデックス・マザーファンド(評価額)	275,901,441
未収入金	314,951,084
(B) 負債	312,192,076
未払金	311,889,347
未払信託報酬	288,787
その他未払費用	13,942
(C) 純資産総額(A－B)	278,948,768
元本	164,432,091
次期繰越損益金	114,516,677
(D) 受益権総口数	164,432,091口
1万口当たり基準価額(C／D)	16,964円

※当期における期首元本額233,752,407円、期中追加設定元本額14,097,842円、期中一部解約元本額83,418,158円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2025年８月１日　至2026年７月31日）

項目	当期
(A) 配当等収益	1,740円
受取利息	1,740
(B) 有価証券売買損益	43,312,970
売買益	116,186,729
売買損	△ 72,873,759
(C) 信託報酬等	△ 631,703
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	42,683,007
(E) 前期繰越損益金	55,721,005
(F) 追加信託差損益金	16,112,665
(配当等相当額)	(13,101,538)
(売買損益相当額)	(3,011,127)
(G) 合計(D＋E＋F)	114,516,677
次期繰越損益金(G)	114,516,677
追加信託差損益金	16,112,665
(配当等相当額)	(13,101,710)
(売買損益相当額)	(3,010,955)
分配準備積立金	98,404,012

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の**信託報酬等**には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	26,638円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	42,656,369
(c) 収益調整金	16,112,665
(d) 分配準備積立金	55,721,005
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	114,516,677
1万口当たり当期分配対象額	6,964.38
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当期
	0円

日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年７月31日現在）

項目	期末
(A) 資産	18,258,819,017円
コール・ローン等	2,813,602
ゴールド・インデックス・マザーファンド(評価額)	18,238,254,259
未収入金	17,751,156
(B) 負債	20,377,321
未払解約金	2,636,444
未払信託報酬	16,956,764
その他未払費用	784,113
(C) 純資産総額(A－B)	18,238,441,696
元本	5,812,025,539
次期繰越損益金	12,426,416,157
(D) 受益権総口数	5,812,025,539口
１万口当たり基準価額(C／D)	31,381円

※当期における期首元本額6,680,554,165円、期中追加設定元本額1,526,490,253円、期中一部解約元本額2,395,018,879円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2025年８月１日　至2026年７月31日）

項目	当期
(A) 配当等収益	51,590円
受取利息	51,590
(B) 有価証券売買損益	3,558,407,012
売買益	4,728,629,346
売買損	△ 1,170,222,334
(C) 信託報酬等	△ 34,509,025
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	3,523,949,577
(E) 前期繰越損益金	3,570,960,953
(F) 追加信託差損益金	5,331,505,627
(配当等相当額)	(2,546,494,090)
(売買損益相当額)	(2,785,011,537)
(G) 合計(D＋E＋F)	12,426,416,157
次期繰越損益金(G)	12,426,416,157
追加信託差損益金	5,331,505,627
(配当等相当額)	(2,546,530,974)
(売買損益相当額)	(2,784,974,653)
分配準備積立金	7,094,910,530

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の**信託報酬等**には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,591,791円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	3,522,357,786
(c) 収益調整金	5,331,505,627
(d) 分配準備積立金	3,570,960,953
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	12,426,416,157
１万口当たり当期分配対象額	21,380.53
(f) 分配金	0
１万口当たり分配金	0

分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税引前）	当期
	0円

各ファンドとも、上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第１項各号に該当する事項はありません。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

第５期（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

信託期間	無期限（設定日：2021年８月３日）
運用方針	■ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 ■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額		（ベンチマーク）ＬＢＭＡ金価格		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率	（円換算ベース）	期中騰落率		
（設定日）	円	％		％	％	百万円
2021年８月３日	10,000	－	100.00	－	－	1
１期（2022年８月１日）	11,465	14.7	117.67	17.7	98.9	2,246
２期（2023年７月31日）	13,461	17.4	139.10	18.2	98.9	6,096
３期（2024年７月31日）	17,765	32.0	183.98	32.3	98.3	12,492
４期（2025年７月31日）	23,489	32.2	249.25	35.5	98.7	19,108
５期（2026年７月31日）	31,645	34.7	333.62	33.9	97.5	23,051

※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額	（ベンチマーク）LBMA金価格（円換算ベース）		投資信託組入証券比率
		騰落率		騰落率	
（期首）	円	%		%	%
2025年7月31日	23,489	―	249.25	―	98.7
8月末	24,161	2.9	252.80	1.4	98.7
9月末	27,357	16.5	287.68	15.4	98.9
10月末	29,675	26.3	310.79	24.7	98.0
11月末	31,201	32.8	328.53	31.8	98.4
12月末	32,444	38.1	342.85	37.6	98.5
2026年1月末	39,523	68.3	419.36	68.3	99.0
2月末	38,603	64.3	406.53	63.1	98.5
3月末	34,449	46.7	365.63	46.7	98.5
4月末	34,855	48.4	366.23	46.9	97.6
5月末	34,264	45.9	355.68	42.7	97.5
6月末	31,253	33.1	330.15	32.5	97.3
（期末）					
2026年7月31日	31,645	34.7	333.62	33.9	97.5

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▸基準価額等の推移について（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

基準価額等の推移



期　首	23,489円
期　末	31,645円
騰 落 率	＋34.7％

※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドのベンチマークは、ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）です。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▸基準価額の主な変動要因（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

主として、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資することにより、ロンドン貴金属市場協会（ＬＢＭＡ）金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因	・中東やベネズエラ等を巡る地政学リスクの高まりから、安全資産需要が高まったこと ・米国の関税政策・政府機関閉鎖懸念から、安全資産需要が高まったこと ・米ドルが円に対して上昇したこと
下落要因	・米国長期金利（10年国債利回り）が上昇したこと

▶投資環境について（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

金市場は、上昇しました。米ドル・円は、米ドル高・円安となりました。

金市場

期を通じて、金市場は上昇しました。

期初から2026年２月にかけては、中東やベネズエラ等を巡る地政学リスクの高まりや、米国の関税政策・政府機関閉鎖懸念などを背景に安全資産需要が高まり、金価格は上昇しました。

その後、期末にかけては、原油価格の上昇に伴うインフレ圧力や堅調な雇用・物価指標を背景に米長期金利が上昇したことや、ＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待の後退などが重石となり、金価格は下落に転じました。

為替市場

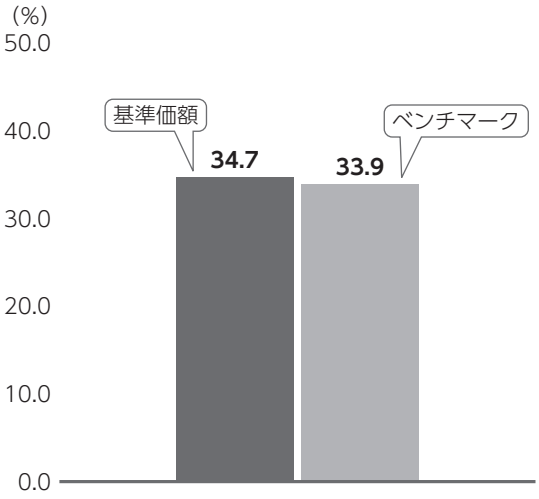
米ドル・円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。日米の金利差は縮小したものの、なお相応の水準にあったことや、米国の金融政策が緩和姿勢から引き締め姿勢に転じるとの観測が強まったことなどから、円安圧力となりました。しかし、期末にかけては、日米通貨当局が円買いの協調介入を実施したことから急速に円高が進む展開となりました。

▶ポートフォリオについて（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指し、iShares Gold TrustやSPDR Gold MiniShares Trustを組み入れて運用を行いました。

▸ベンチマークとの差異について（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

【ベンチマークとの差異の状況および要因】

基準価額の騰落率は＋34.7％となり、ベンチマークの騰落率＋33.9％を0.8％上方乖離しました。

上方乖離要因	・投資対象ＥＴＦ（上場投資信託）とベンチマークで評価時間に差があること
下方乖離要因	・売買コストが生じたこと ・現地証券保管銀行の証券保管および取引などに関わるコストが生じたこと

2 今後の運用方針

引き続き、ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指し、iShares Gold Trust※やSPDR Gold MiniShares Trustを高位に組み入れて運用を行います。

※2026年12月16日付で「iShares Gold Trust」から「iShares Gold Trust Micro」へ入れ替えを行う予定です。

1万口当たりの費用明細（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料	7円	0.022%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	(7)	(0.022)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用	3	0.010	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.010)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	10	0.032	

期中の平均基準価額は32,145円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

当期中の売買及び取引の状況（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

投資信託証券

			買		付	売		付
			口数		買付額	口数		売付額
			口		千アメリカ・ドル	口		千アメリカ・ドル
外国	アメリカ	ｉシェアーズ ゴールド・トラスト	143,800		11,601	350,000		27,513
		SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト	268,300		22,050	302,700		24,790

※金額は受渡し代金。

利害関係人との取引状況等（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年８月１日から2026年７月31日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細（2026年７月31日現在）

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	期末			
		口数	口数	評価額		組入比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
ｉシェアーズ ゴールド・トラスト		408,840	202,640	15,664	2,517,529	10.9
SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト		1,561,410	1,527,010	124,191	19,960,093	86.6
小計	口数・金額	1,970,250	1,729,650	139,855	22,477,623	97.5
	銘柄数〈比率〉	2銘柄	2銘柄		〈97.5%〉	
合計	口数・金額	1,970,250	1,729,650	－	22,477,623	97.5
	銘柄数〈比率〉	2銘柄	2銘柄		〈97.5%〉	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
※〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。
※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

投資信託財産の構成

（2026年７月31日現在）

項目	期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	22,477,623	97.3
コール・ローン等、その他	621,351	2.7
投資信託財産総額	23,098,974	100.0

※期末における外貨建資産（22,770,950千円）の投資信託財産総額（23,098,974千円）に対する比率は98.6%です。
※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝160.72円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年７月31日現在）

項目	期末
(A) 資産	**23,126,288,952円**
コール・ローン等	621,349,540
投資信託受益証券(評価額)	22,477,623,421
未収入金	27,315,991
(B) 負債	**75,008,842**
未払金	54,664,149
未払解約金	20,344,693
(C) 純資産総額(A－B)	**23,051,280,110**
元本	7,284,373,424
次期繰越損益金	15,766,906,686
(D) 受益権総口数	**7,284,373,424口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**31,645円**

※当期における期首元本額8,135,378,566円、期中追加設定元本額2,326,788,634円、期中一部解約元本額3,177,793,776円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※期末における元本の内訳は以下の通りです。

三井住友ＤＳ・ＦＷ専用ポートフォリオ・レベル１（保守型）	55,188円
三井住友ＤＳ・ＦＷ専用ポートフォリオ・レベル２（安定型）	5,026,690円
三井住友ＤＳ・ＦＷ専用ポートフォリオ・レベル３（安定成長型）	95,119,948円
三井住友ＤＳ・ＦＷ専用ポートフォリオ・レベル４（成長型）	225,861,036円
三井住友ＤＳ・ＦＷ専用ポートフォリオ・レベル５（積極成長型）	169,735,845円
日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジあり）	87,186,425円
日興ＦＷＳ・ゴールド（為替ヘッジなし）	5,763,392,087円
三井住友ＤＳ・ゴールドインデックス・ファンド（為替ヘッジあり）	937,996,205円

※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2025年８月１日　至2026年７月31日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**2,020,617円**
受取利息	2,020,617
(B) 有価証券売買損益	**6,259,044,403**
売買益	6,329,197,596
売買損	△ 70,153,193
(C) その他費用等	**△ 2,307,927**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**6,258,757,093**
(E) 前期繰越損益金	**10,973,553,767**
(F) 解約差損益金	**△ 6,472,797,321**
(G) 追加信託差損益金	**5,007,393,147**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**15,766,906,686**
次期繰越損益金(H)	**15,766,906,686**

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

＜約款変更について＞

・「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」へ名称を変更することとなったため、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2026年４月１日）